

日進市地域公共交通計画 パブリックコメント案 新旧対照表

※頁数は、変更後のものを表示、() 内に会議資料（40 頁以降は差し替え分参照）のものを表示

頁数	第 5 回会議資料	変更後
1	こうした危機的な状況において、	地域の暮らしを支える公共交通の維持が容易ではない危機的な状況において、
1	策定・更新されました。	策定・更新され、市民が安全で快適に移動できる環境の向上が喫緊の課題とされています。
8		図中に地名を追加
26(22)		以下を追記 【要因分析】 ● 日頃バスを利用する人の割合 幹線バスにおいては目標値を大きく上回り達成することができましたが、地域交流交通については策定時の割合を下回ることとなりました。これは、これまで地域交流交通が担っていた一部の幹線機能を日進中央線が担うこととなったため、利用者の乗り換えが発生したことが大きな要因と考えられます。 ● 公共交通の利用者数 全体として目標値を上回ることができました。日進中央線の民間路線化やくるりんばす循環線の運行に伴う利便性の向上により、駅利用者が増加したことが影響したものと考えられます。 ● 公共交通利用の不満割合 幹線バス、地域交流交通共に目標値に届かず、現状値を下回る結果となりました。再編により採算性を重視するため、料金体系を見直したことや、幹線バスと地域交流交通の重複を避けた路線体系としたことにより、利用者の満足度が低下したものと考えられます。
28(24)	①市民アンケート	①市民アンケート ※図中の赤枠は各図の説明文の根拠部分です。
28 以降		文体を体言止めから変更。「主体」という表現を、「半数以上」に修正
31(27)	●くるりんばすは利用者の半数が 65 歳以上の高齢者であり、買物・通院等の自由目的で利用	●くるりんばすは平日の利用者の半数が 65 歳以上の高齢者であり、主に買物・通院等の自由目的で利用
33(29)	●乗継場所としてふさわしいのは「市役所」「鉄道駅」	●くるりんばすの乗継場所としてふさわしいのは「市役所」「鉄道駅」が上位
34(30)	●地域をくまなく回る移動手段は「予約型の乗り合い交通」「タクシー」「地域の共助による移動支援」	●地域をくまなく回る移動手段として希望が多いのは「予約型の乗り合い交通※」「タクシー」「地域の共助による移動支援」が上位
35-36 (31)		④地域別ワークショップ →まとめの記載方法を修正（以前の会議資料で示した「6 地区のまとめ」の内容を転記）
51(46)	(1) 計画目標 現況値：19,082,598 人/年 目標値：(空欄) (2) 方針別目標 方針 1 現況値：18,758,984 人/年 目標値：(空欄) 方針 2 現況値：12.2% 目標値：(空欄) 方針 3 現況値：75.4% 目標値：(空欄)	(1) 計画目標 現況値：19,046,598 人/年 目標値：20,050,000 人/年 (2) 方針 1 現況値：18,722,984 人/年 目標値：19,690,000 人/年 方針 2 現況値：12.2% 目標値：6%以下 方針 3 現況値：71.2% 目標値：78%以上
52(47)		③、⑨ 事業名を変更 ⑤、⑩について、方針 3 の欄に○を追記
55(50)	③既存交通資源を活用した新規幹線の導入に向けた検討	③既存交通資源を活用した新規幹線の導入 図中に矢印を追記、説明を追記
57(52)		方針 3 の欄に○を追記、【事業事例等】内容を差し替え
58(53)		【事業事例等】内容を差し替え
61(56)	⑨乗継割引や乗継券のあり方の検討	⑨乗継制度の見直しによる利便性の向上 方針 3 の欄に○を追記
63(58)	少量輸送等新たな公共交通の研究	オンデマンド型の少量輸送や自動運転等「新たな交通手段」の研究
64(59)		【事業事例等】内容を差し替え
65(60)		図の差し替え
70-		1) 用語解説、2) 目標設定の根拠、を追加